地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2020
3月
No.70

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

［診療科紹介］
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
ストーマ外来

●［AGMCニュース］令和元年度 尼崎総合医療センター
地域医療連携研修会を開催しました
「地域で支える患者の在宅療養～在宅におけるストーマケア」

●［Painting Story］～ヨガ、アート、音楽による癒しのプログラム～

●ぶらり～っと病院探訪　●患者さん・ご家族への病状説明等について
●病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について　●ご寄附のお願い

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患で苦しむ方へ適切な診断・治療を

当科は、5感のうちの聴覚・嗅覚・味覚の3つを扱い、また発声・嚥下という大事な機能も守備範囲です。さらに、頭頸部領域(鎖骨から上の部位)の腫瘍も担当します。どの分野の病気でも、病気を治すのみではなく、皆様ができるだけ快適に暮らせることを目指しています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 科長

森田 武志

- 京都大学博士(医学)
- 京都大学臨床教授
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医
- 日本気管食道科学会専門医(咽喉系)
- 日本睡眠学会専門医
- 補聴器適合判定医師

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医長

隈部 洋平

- 日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医
- 日本気管食道科学会専門医(咽喉系)

提供する活動内容

滲出性中耳炎に対する鼓膜チューブ留置術など、小児全身麻酔手術の一部を入院することなく日帰りで行うようになり、好評です。ただし、これまでの既往症などによっては従来通り入院が必要な場合があります。

●頭頸部癌

咽頭、喉頭、甲状腺、唾液腺、鼻・副鼻腔などの癌に対して手術・放射線治療・抗癌剤治療を組み合わせて治療します。早期の咽喉頭がんでは経口的内視鏡手術により患者さんの負担を最小限に、進行癌では消化器外科・脳外科などの協力のもと遊離皮弁や遊離空腸を用いて適切な再建術も行います。

●睡眠時無呼吸症候群

在宅での簡易検査・入院でのPSG(ポリソムノグラフィー)検査を用いて診断し、CPAP・手術・歯科装具を組み合わせ治療します。

●鼻疾患

副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、肥厚性鼻炎、アレルギー性鼻炎に対する後鼻神経切断術などの手術治療を、最新の内視鏡・ナビゲーションシステムを用いて行っています。

●耳疾患

真珠腫性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、耳硬化症、外リンパ瘻に対する手術治療を行います。補聴器の調整・適合検査も行っています。

●小児難聴

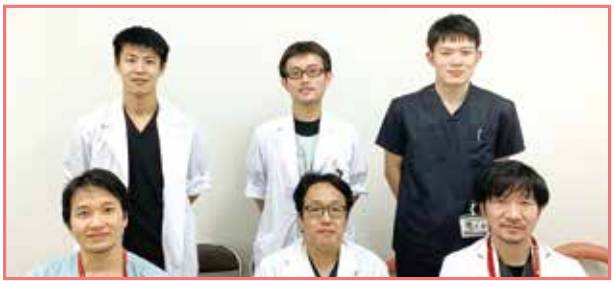
ABR(聴性脳幹反応)・ASSR(聴性定常反応)・DPOAE(内耳機能検査)・行動観察による聴力検査を組み合わせ、画像検査(CT・MRI)も用いて診断します。難聴が判明すれば早期に補聴器装用を開始し，補聴器の効果が得られない高度難聴の場合は、1歳以降に人工内耳手術を行います。

●音声障害

声帯ポリープ、声帯麻痺などに対する手術治療を行います。

構成メンバー

■常勤医師6名



後列左から：高田医師、初川医師、大槻医師
前列左から：石川医師、森田医師、隈部医師

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

重症の方は病院で、軽症・病状の安定した方は診療所で診療を受けて頂く病診連携を積極的に行なっています。ご協力をお願いいたします。

ストーマ外来

ストーマと共に、快適に暮らせるようお手伝いします

ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の手術をされた方に、装具の選択や交換方法、日常生活の悩みなどに対して相談に応じる外来です。

構成メンバー

■消化器外科医師、
泌尿器科医師、
皮膚・排泄ケア認定看護師

▲ストーマ外来の様子

泌尿器科部長・科長 山田 裕二 / 泌尿器科 部長 村蒔 基次

消化器外科部長・科長 田村　淳 / 消化器外科 部長 白潟 義晴

提供する活動内容

ストーマの手術を受ける前の時期は、ストーマのイメージがつかず不安を抱かれる方がいます。当院では、入院前からストーマのケア方法等の説明を行い、少しでも不安が軽減するよう関わっています。また、退院後も定期的に受診いただき、手術前の生活に近づけるよう支援しています。

- ストーマケアの確認
- ストーマ周囲皮膚炎の予防、ケア、処置方法
- 装具選択、装具変更
- ストーマ晩期合併症の早期発見と対応
- 日常生活全般における指導、相談
- 状況に応じて皮膚科紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 中嶋 美和

皮膚・排泄ケア認定看護師 井上 美香

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

皮膚がただれる、便や尿が漏れるなど、ストーマケアに関するトラブルがあれば、ご相談ください。他院でストーマ造設の手術を受けられた方は、地域医療連携センターを通じて予約をお取りください。

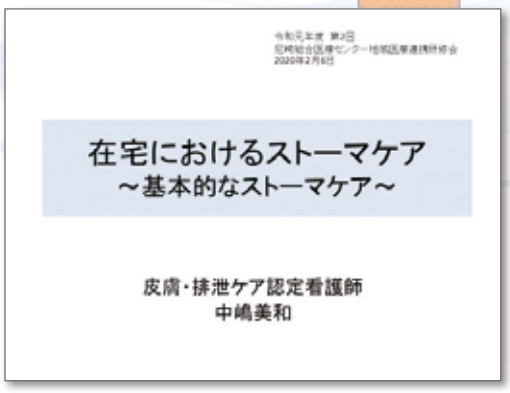
令和元年度
尼崎総合医療センター
地域医療連携研修会を開催しました

AGMC
ニュース

「地域で支える患者の在宅療養
～在宅におけるストーマケア」

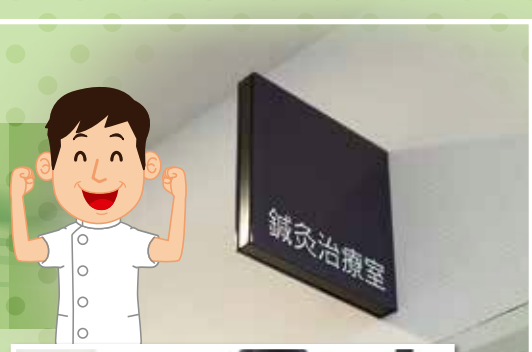
さる2月6日（金）、当院において地域の訪問看護師（13施設22名）および当院看護師合同の研修会を開催しました。

当院の皮膚排泄ケア認定看護師による「基本的なストーマケア」についての講義とグループ演習を行った他、参加者から、在宅でのトラブル事例と対応方法について、たくさんの質問や情報提供もあり、「今後のケアに生かせる学びを得た」「他施設の看護師と話せて良かった」との意見が聞かれました。地域住民の方が、病気になり入院しても、住み慣れた地域で安全・安心な療養生活を継続するには、病院と地域の医療・介護職の連携強化による切れ目のない支援が重要です。今後も、様々なテーマでこのような研修会を企画して参ります。



ぶらり～っと 病院探訪

鍼灸治療室



今回は鍼灸治療室を訪ねました。鍼灸治療では肩こり・腰痛・坐骨神経痛・肩関節周囲炎といった整形外科疾患だけでなく、顔面神経麻痺・眼精疲労・頭痛・めまい・更年期障害・胎位異常（逆子）といった幅広い疾患にも対応しているとのことです。1日10人～15人の患者さんに治療を受けて頂いております。鍼灸治療は自由診療であるため、厚生労働省規則により保険診療を受けられている疾患に対して鍼灸治療を行うことはできません。患者さんご自身で鍼灸治療が可能かどうかを判断することが難しいこともあるかと思われます。そのような場合は担当者がお調べいたしますので、2階Ｉブロック受付にお気軽にお問い合わせ下さい。

～ヨガ、アート、音楽による癒しのプログラム～

TICプログラム講師の皆さん▶

兵庫県立尼崎総合医療センターでは、2018年6月より、おもに産婦人科、小児科に入院中・通院中の患者さん、「がん支援サロン」参加の方を対象にトラウマインフォームドケア（TIC）プログラムを行っています。トラウマインフォームドケアとは、「トラウマの影響を十分理解した配慮あるかかわり」をさしています。このプログラムでは言葉によるカウンセリングではなく、ヨガやアート、音楽で楽しみながら心とからだをトラウマから癒すことを目的としています。いろいろなことがあるけれど、すべてあなたの人生の一部ですという意味をこめ「Painting Story あなたのストーリーを描きましょう」と名付けました。1年間でのべ87人の方にご参加頂きましたが、なかには絵をかいたり、深い呼吸をすることによって、ご自身の「経験」を少し外から眺めることができたというお声もあります。興味のある方は産婦人科・田口奈緒（#3812）またはHブロック受付（2370）までご連絡ください。

アートの時間の作品❶

アートの時間の作品❷

このプログラムは国立研究開発法人 科学技術振興機構 RISTEX（社会技術研究開発センター）の「安全な暮らしをつくる新しい公私空間の構築」領域 「トラウマへの気づきを高める“人－地域－社会”によるケアシステムの構築」調査研究事業（2017－2020年度）のひとつとして行っています。

お知らせ掲示板

患者さん・ご家族への病状説明等について

日頃は、当院の診療にご協力いただき有難うございます。さて、医師の長時間労働に伴う健康被害が社会的問題として大きく取り上げられ、厚生労働省より、全ての医療機関に対して、「働き方改革」の趣旨に基づき、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みが求められています。

これを受け、当院の取組みとして、「患者さん、ご家族への病状説明等」を「平日の日勤時間内(9:00～18:00)」に実施させていただく方針としました。

病状の変化等により診療科から申し出る場合を除いて、患者さん、ご家族の都合による土曜、日曜、祝日、又は時間外の病状説明等のご依頼は、お断りする場合がございますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

このたび、県の受動喫煙の防止等に関する条例が改正され、令和元年7月1日より一部施行されました。当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としており、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご寄附のお願い

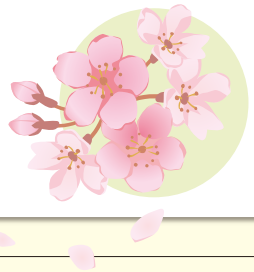
当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れておりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●**寄附の使途**　ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●**寄附のお申し込み・お問合せ先**　兵庫県立尼崎総合医療センター　経営企画部経理課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)

編集後記

暖かい日も多くなり、桜の開花が待ち遠しい季節となりました。春は出会いと別れの季節でもあります。着任してから早1年、初めての広報の業務も少しずつ慣れてきたように思います。無理をせず、頑張るところはしっかりと気を引き締めて、新年度に向けこれからも頑張っていきます！　(M.F.)



兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000(病院代表)　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/

兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社